

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 電3399-2196

部活動の最後の試合

校長 香西雅斗

先日の台風11号は四国に上陸しそのまま北上したので、東京では湿った南風が吹きました。科学と自然のさんぽみちを通ると、最近植樹したので根が張っていなかったのか、赤い夾竹桃が傾いていました。同じ日の夕方、部活動の生徒も全員下校した後のこと、校庭の玄関の近くの桜の木が傾き倒れました。倒れた跡を見ると、根が校舎側には伸びていませんでした。台風の風だけでなく枝や葉の重みで倒れたのかもしれません。

広く深く根を張ることで、しなやかさやたくましくさを身につけ、少々の試練に負けなくなるのは、植物だけでなく人間もです。中学校で生徒たちは、自分の基礎となる根を張るため、様々なことを経験し、辛いことに耐え、地道な練習を積み重ねていきます。部活動もその一つです。

部活動の中でも運動部のように大会がある部には、最後の試合が終わると現役を退いて引退するという習慣があります。私は顧問をした部活で、3年生が引退した直後の練習で生徒たちに、「自分の最後の試合はどんな試合だろうか?」と問いかけたことがあります。その時の多くの答は「勝ち試合」でした。

試合をするからには勝ちたいと願うのは誰も同じです。しかし考えてみると、最後が勝ち試合なのは、例えば全国大会の優勝1チーム、あるいは1人だけです。優勝者以外は、一回戦であろうと決勝戦であろうと最後の試合は、皆等しく負け試合なのです。言ってみれば、ほとんどの人は、最後の負け試合を目指して日々の練習を行い、努力を重ねていることになります。

「スポーツは心技体」という言葉を借りれば、最後の試合は「心」で負けるのか「技」で負けるのか「体」で負けるのか、ということになります。

最後の試合で、闘志はあるのに体力が尽きてしまい、練習の成果が発揮できなかった、これは残念です。また、練習も十分してきたし体力もまだまだある、でも心がなえてしまって自分らしくプレーができなかったのではみじめです。

最後の試合、例え相手が非常に強いチーム(人)であろうと、負ければ悔しい思いをします。でもどんなに悔しくとも、みじめな思いをしないように、どんな格上のチームに対しても、最後まであきらめず食いつき、失敗を恐れず、後ずさりするのではなく前のめりになって終われる、そんな最後を迎えられるため、普段の練習と日常生活で「心」と「体」を鍛えるのです。これはスポーツだけでなく全てに通じることです。

傍から見てみると、つい勝利という華に目が行きがちですが、自分を鍛え、根を張ろうとしている生徒たちをたたえるとともに、自分もその様な最後を迎えられるよう日々努めていこうと思います。

レスキュー隊発足式及び合同訓練

7月5日(日)に阿佐ヶ谷中学校で発足式と合同訓練があり、本校から14名の隊員が参加しました。新隊員の代表が帽子を受け取った後、AED操作訓練、傷病者搬送訓練、放水訓練などに取り組みました。訓練の中で、他校の隊員と協力する姿も見られました。



社会を明るくする運動 駅頭広報活動

ボランティア部の生徒が、7月6日(月)に下井草駅で「社会を明るくする運動」駅頭広報活動に取り組みました。当日は、東原中学校の生徒とともに雨の降る中、傘をさしながらチラシとポケットティッシュを通行人に配布しました。事前には、標語とプラカードの作成やチラシをポケットティッシュにステープラー止めする作業にも取り組んでくれました。



部活動の記録

〔陸上部〕

第54回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会

男子共通	200M	14位
男子3年	100M	準決勝敗退
女子共通	400Mリレー	通信大会出場権獲得

【9月の予定】

※SC…スクールカウンセラー出勤日、ICT…ICT支援員出勤日

日	月	火	水	木	金	土
		9 / 1	2	3	4	5
		始業式	中瀬学級通級開始	幼稚園実習(3年) SC		
6	7	8	9	10	11	12
		生徒朝礼 桃五小体験		八成小体験 SC		SO体験(1年) 引き取り訓練 中瀬学級説明会
13	14	15	16	17	18	19
	学校公開開始	全婦礼・安全指導	職員会議	理科出前教室(2年) SC	学校公開終・水泳指導終 生徒会選挙・学校説明会	
20	21	22	23	24	25	26
	敬老の日	国民の祝日	秋分の日	学習教室	学習教室	
27	28	29	30			
	中間考査	中間考査	学校保健委員会			